

愛媛県側9つの自治体と大分県側9つの自治体で新たな経済圏の循環などを目的に相互交流を図っており、その一環として、お互いの広報誌の相互掲載を行っています。

今回は「佐伯市」です。海の向こうに目を向けてみましょう。



別府市の概要



人口：114,733人
(令和3年2月末現在)
面積：125.34 km²

別府市は、九州の北東部、瀬戸内海に面した大分県の東海岸のほぼ中央に位置します。

別府市には、古くから「別府八湯」と呼ばれる温泉群が点在し、2千2百を数える源泉から湧出する温泉は、毎分8万7千リットルにも及び、**日本一の源泉数・湧出量**を誇ります。

大地から立ちのぼる「湯けむり」は別府を象徴する風景として市民はもちろん観光客からも親しまれています。

「別府観光の父」と呼ばれ、多大な功績を残した**油屋熊八翁**は、愛媛県宇和島市出身です！



郷土料理・特産品



温泉の噴気を利用して海、山の幸を蒸し上げて食べる「**地獄蒸し**」は高温の蒸気で一気に蒸し上げる料理で、素材の旨味が凝縮され、余分な油も落とすので美味しくてヘルシーです。



「**別府竹細工**」は大分県が生産量第1位を誇るマダケを主材料に使用し、全て手作業で作られています。台所用品やアクセサリから美術工芸品まで幅広く愛用されています。



「**ざぼんサイダー**」はざぼん特有のさわやかな香りと甘酸っぱさが広がるサイダーで、温泉上がりにオススメの1瓶です。

